

# 東北地方 1 か月予報

( 8 月 3 1 日から 9 月 3 0 日までの天候見通し )

平成 1 4 年 8 月 3 0 日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

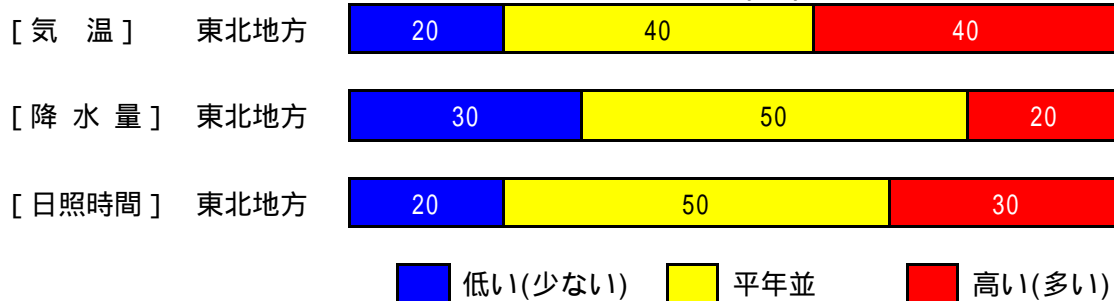
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

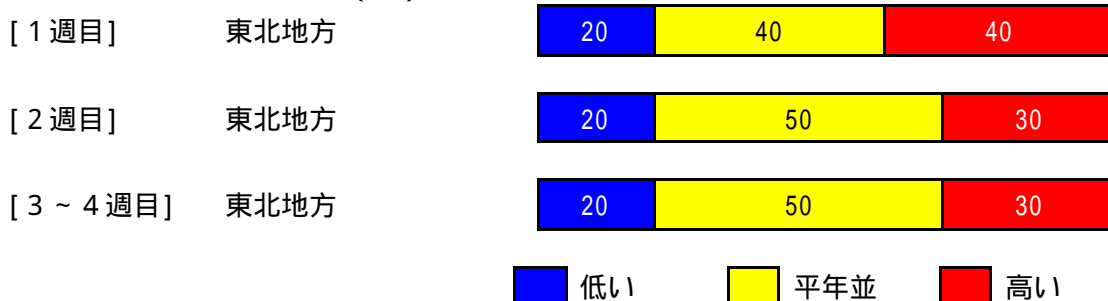
向こう 1 か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並か高い、2 週目、3 ~ 4 週目は共に平年並の見込みです。

## < 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率 ( % ) >



## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月 : 8 月 3 1 日 ( 土 ) ~ 9 月 3 0 日 ( 月 )  
1 週目 : 8 月 3 1 日 ( 土 ) ~ 9 月 6 日 ( 金 )  
2 週目 : 9 月 7 日 ( 土 ) ~ 9 月 1 3 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 : 9 月 1 4 日 ( 土 ) ~ 9 月 2 7 日 ( 金 )

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 9 月 6 日  
3 か月予報 : 9 月 2 4 日 ( 火 ) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ( )		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	19.4	234.7	125.3	21.4	20.2	18.4
新庄	19.2	162.5	119.2	21.7	20.2	18.0
若松	20.1	139.1	132.8	22.8	21.1	18.8
深浦	19.2	181.4	161.6	21.3	20.0	18.2
青森	18.9	127.1	166.5	21.2	19.9	17.9
むつ	18.0	181.5	149.2	20.0	18.9	17.1
八戸	18.7	174.5	149.0	20.7	19.5	17.8
秋田	20.0	186.7	162.5	22.4	20.9	18.9
盛岡	18.4	169.3	129.8	20.9	19.4	17.3
宮古	18.6	238.8	128.9	20.6	19.4	17.8
酒田	20.6	194.4	157.0	22.9	21.5	19.6
山形	19.8	144.2	133.4	22.5	20.9	18.7
仙台	20.4	225.1	125.0	22.5	21.2	19.5
石巻	20.0	171.3	138.9	22.1	20.8	19.0
福島	20.9	176.3	119.5	23.4	21.8	19.7
白河	19.2	230.2	117.3	21.6	20.2	18.1
小名浜	21.3	211.9	143.1	23.2	22.2	20.4

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ( )	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.5 ～ +0.3	85 ～ 113	95 ～ 108
東北日本海側	-0.6 ～ +0.4	86 ～ 111	96 ～ 108
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.3	85 ～ 114	92 ～ 110

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.7	-0.7 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.3
東北日本海側	-0.8 ～ +0.8	-0.8 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.2
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.3

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60 % の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33 %）から大きく隔たった確率（10 % や 60 %、70 % など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 8 月 30 日 仙台管区气象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(8 月 31 日～9 月 30 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(8 月 31 日～9 月 6 日)：

期間の中頃、気圧の谷の影響で天気のくずれる所がありますが、その他の日は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目(9 月 7 日～9 月 13 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(9 月 14 日～9 月 27 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

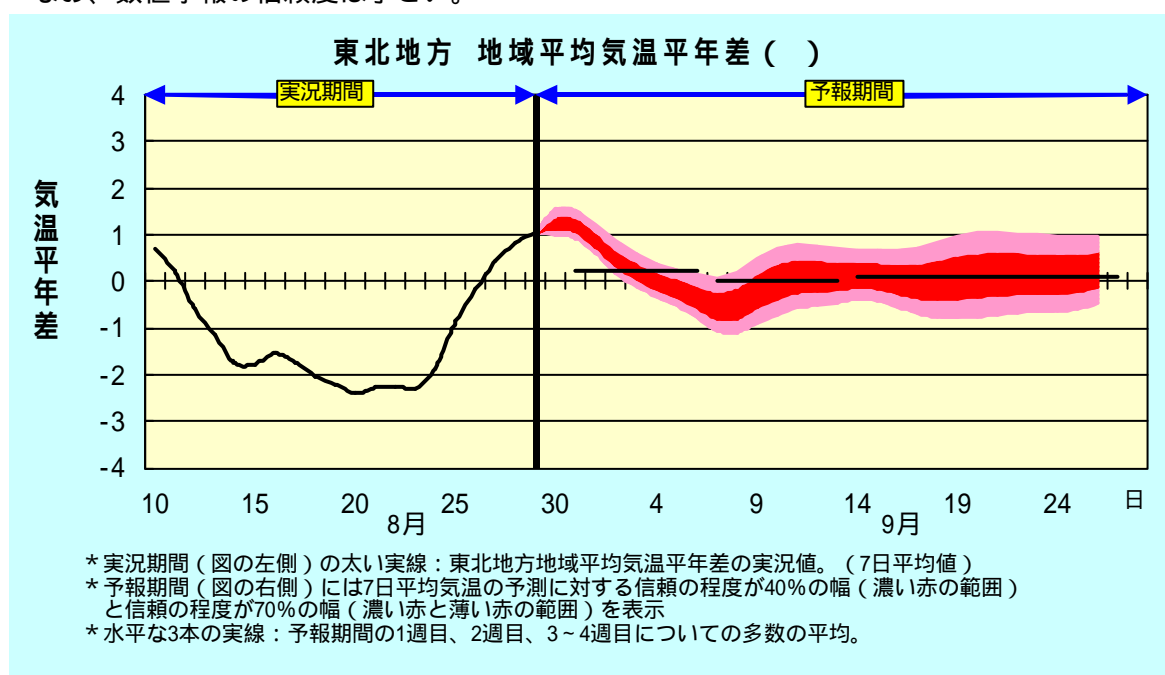
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.4 日	3.7 日	3.1 日	6.6 日
東北太平洋側	12.2 日	3.3 日	2.6 日	6.3 日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

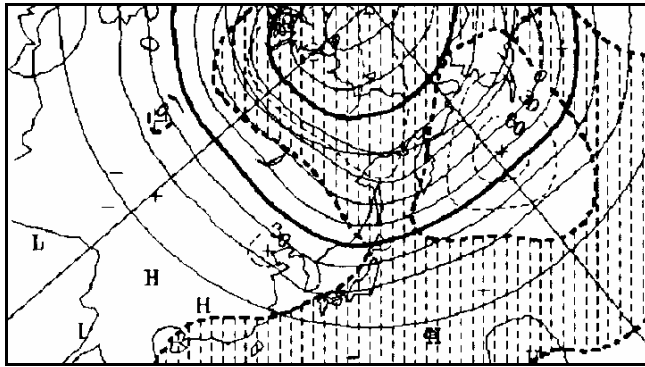
数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」を予測している。

予報は、週間予報資料などから 1 週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

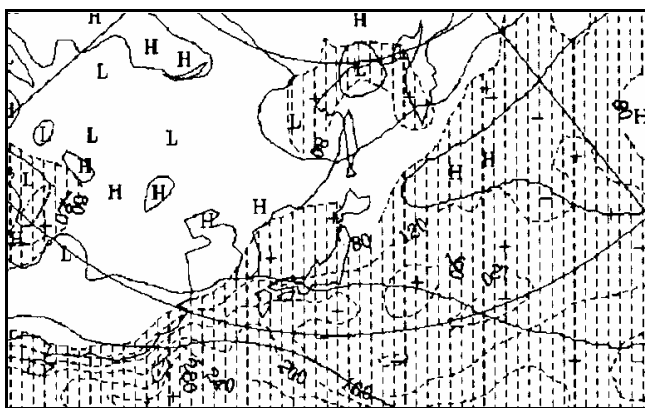


月平均の 500hPa 高度・偏差  
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本の南と高緯度に負偏差域が広がり、日本付近も負偏差だが、偏差は小さい。偏西風は東西流が卓越するため、天気は周期的に変わると考えられる。

週別（図略）では、1 週目は日本付近の高度場は正偏差で、沿海州付近の気圧の谷が明瞭。2 週目以降は、日本付近は負偏差に転じ、月平均の分布に近くなる。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

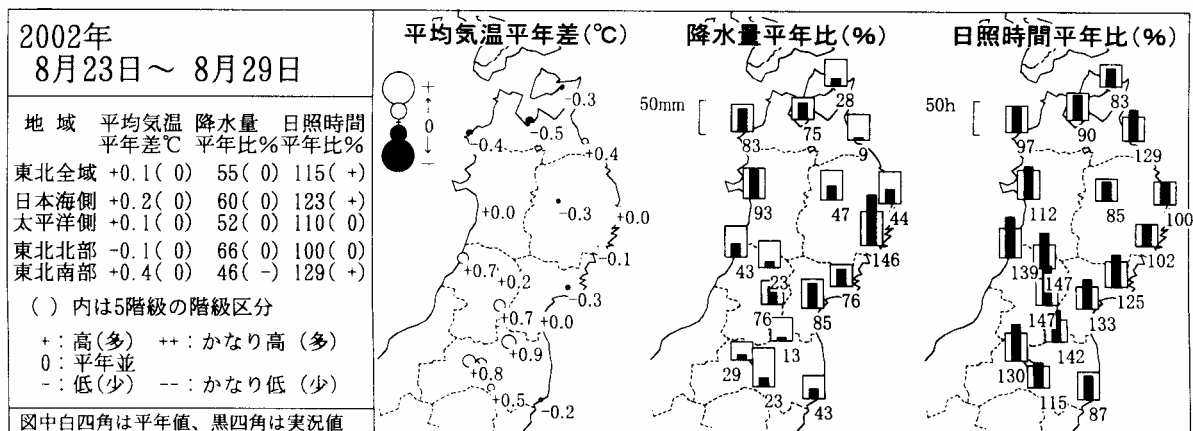
月平均で見ると、日付変更線から北海道の東に高気圧が張り出し、日本の南海上は低圧部となっている。台風や熱帯低気圧、秋雨前線に対応する降水域が、南海上から本州南岸に予想される。

週別（図略）では、1 週目は日本の東から張り出す高気圧に北日本は覆われる。2 週目以降、日本付近の等圧線は次第にまばらとなり、天気は周期的に変わると予想される。

### 4. 最近 1 週間（8 月 23 日～8 月 29 日）の天候の経過

天気は周期的に変わり、24日と29日は低気圧や前線の影響で東北北部を中心に雨となったが、その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れた。また、8月中旬以降の低温状態は24日頃解消し、27日以降は東南北部を中心に厳しい残暑となった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.1 と平年並だった。降水量は、東北北部で平年比66%と平年並、東南北部で平年比46%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比100%と平年並、東南北部で平年比129%と多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）